豊作を祈り矢を射る
弓引き祭り

十郎原・日桂神社

4月3日、十郎原の日桂神社で今年の豊作を祈る「弓引き祭り」が行われました。

甲冑姿の氏子らが神事に臨んだあと、神社前にある「ばんば」と呼ばれる御旅所で大将の号令に合わせて一斉に矢を放ちました。煙をいぶし、天に向かって放つ矢によって、害虫を追い払い、豊作を祈ります。

その後、境内に戻った神職と氏子らにより弓引き神事が行われました。およそ7メートルほど離れた直径30センチほどの的をめがけて矢を放ち、的に当たった矢の本数で、その年の稲の作柄を占います。

拝殿でお祓いを受ける

狩衣姿の猿田彦が邪魔に入る中、射手は真剣な面持ちで狙いを定め次々と弓を引きました。

今年は2本の矢が命中し、的に矢が当たると固唾を飲んで見守っていた氏子や見物客らから拍手や歓声がわきました。

射手を邪魔をする猿田彦に惑わされずに的を狙う

今年は、豊作に加え、新型コロナウイルス感染症の終息祈願も行われました。

2本の命中という結果に、大将を務めた田中吉栄さんは「今年は厳しいという現れか。一層気を引き締めなければならない」と語りました。

大将役の田中吉栄さん

今年は
2本の矢が命中

見つめる未来 令和2年度入学式

「自主・協調・創造」を心に

第10回能登高校入学式

4月8日、能登高校で入学式が開催され、保護者や来賓などの関係者が集まり、新入生の入学を祝いました。新入生を代表し、瀧元結さんと大脇東洋さんが宣誓しました。

式辞では、角校長が「校訓の自主・協調・創造を心に3年間を過ごして欲しい」と呼びかけました。

今年度は、普通科に40人、地域産業科に27人の合わせて67人が入学しました。

決意を述べる大脇さん（左）と瀧元さん

期待に胸を膨らませて

町内小中学校入学式

4月6日、町内9つの小中学校で入学式が行われました。

今年度は、小学校7クラス77人、中学校6クラス101人が新たに入学しました。

新入生は、先生や保護者が温かく見守る中、これから始まる学校生活に期待に胸を膨らませている様子でした。

名前を呼ばれ、元気に返事をする新入生（柳田小学校）

第24回ふるさとイベント大賞優秀賞受賞「能登小木港イカす会 2019」

昨年5月に開催された「能登小木港イカす会２０１９」が第24回ふるさとイベント大賞で優秀賞に選ばれました。

「ふるさとイベント大賞」は地域活性化センターが、全国各地の地域の活力を生み出すイベントを表彰するもので、今回120の応募の中から、大賞、最優秀賞に次ぐ優秀賞に選ばれました。

「能登小木港イカす会」は、平成20年まで開催していた「イカす会」を小木地区の若者を中心とした「能登小木港スマイルプロジェクト」が、平成26年に6年ぶりに復活させたもので、昨年まで6年連続開催しています。

「イカのまち小木」で行われるイカのことがすべてわかるユニークなイベントとして県内外から多くの来場者が集まります。毎年、地域一丸となって運営している点も高く評価されました。

4月14日、役場に受賞報告に訪れた「能登小木港スマイルプロジェクト」実行委員長の蟹豊文さんは「スタッフや参加者、皆でいただいた賞です。この賞を契機に一層盛り上げていきたい」と語りました。

※5月31日㊐に予定していた「能登小木港イカす会 2020」は、中止となりました。

受賞報告に訪れた「能登小木港スマイルプロジェクト」
実行委員会のメンバー

第2期能登町創生総合戦略がスタート

若者が集い、能登の暮らしを受け継ぐまち

町は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、令和2年度を初年度とする今後5年間の計画を取りまとめた「第2期能登町創生総合戦略」を策定、また、「能登町創生人口ビジョン」の時点修正を行いました。

人口ビジョンは、町の人口の現状と将来の姿を示し、人口減少について町民との共通認識を図り2060年に向けて目指すべき将来の方向性を示したものです。

総合戦略は、人口ビジョンを踏まえ、今後取り組む具体的施策や数値目標をまとめたものです。前回の策定から5年が経過し、外部有識者による能登町創生総合戦略推進会議をはじめ町民アンケート等の意見を参考にして、これまでの取り組みや事業における効果検証をおこない、第2期総合戦略を策定しました。

戦略に沿って町の事業を遂行し、「若者が集い、能登の暮らしを受け継ぐまち」を創ることを目指します。

人口ビジョンと総合戦略の全文は町のホームページでご覧ください。

主な取り組み
町民の誇りと幸福感のある暮らし実現／農林水産業を中心とする産業連関の強化／イノベーションの継続的な創出による地域産業の競争力強化／課題解決型人材や企業との協働・共創による関係人口の創出／農家民宿群「春蘭の里」を成功モデルとする里山里海ツーリズムの推進／町と民間組織の協働による定住支援／企業版ふるさと納税による新たな資金の流れづくり等を進め、「若者」の定住・Iターンを促進

問ふるさと振興課
地域戦略推進室
☎（62）8527

第1期総合戦略における数値目標結果 （平成27年度～令和元年度）

戦略1　しごとづくり　人口減少に応じて就業者数の減少が続くことから、創業支援や事業承継を推進する必要がある

指　標	基準値	目標値	現況値	達成度
農林水産業新規就業者数	ー	2019年度までの 5年間で20人	累計41人 （2019.3.3　時点）	200%
農産物販売金額	2010年 22億円	2020年 22億円を維持	2017年 23.2億円	105.5%
町内漁協支所販売取扱高	2014年度 30億円	2019年度 30億円を維持	2018年度 28億円	93.3%

戦略2　交流人口・定住人口　社会増減は改善傾向にあるが目標を達成していない

指　標	基準値	目標値	現況値	達成度
人口動態における 社会増減（年間）	2014年度 ▲177人	2019年度 ▲120人程度	2018年度 ▲124人	93.0%
町内宿泊者数（年間）	2014年度 96千人	2019年度 101千人	2018年度 103千人	102.0%

戦略3　結婚・出産・子育て　出生数は横ばいを維持しているが、目標達成には至っていない

指　標	基準値	目標値	現況値	達成度
出生数（年間）	2014年度 68人	2019年度 78人程度	2018年度 68人	87.2%

戦略4　安心して暮らし続けられる「まち」　住み続けたいと思う町民の割合は拡大している

指　標	基準値	目標値	現況値	達成度
住み続けたいと思う 町民の割合	2015年度 62.8%	2019年度 62.8%以上	2019年 69.4%	110.5%

第２期 能登町創生総合戦略

【戦略推進の視点】
- 人口構造の改善
- 能登資本の継承
- 暮らしの再構築
- 多様なひとびとによる協働・共創

【新たに取り入れる視点】
- 関係人口を地域の力にしていく
- 未来技術（Society5.0）の実現
- 持続可能な開発目標（SDGs）の推進

戦略1　能登の里山里海を活かし、人材の育成と安定した雇用ができる「しごと」をつくる

基本的方向

- 町内の農林水産業と商工業等の連携、課題解決型人材や企業の誘致
- 未来技術や地域資源を活用したイノベーションの創出
- 商品等の高付加価値化等により、能登のしごと、生業を継承
- 人材育成を進め新たな「しごと」のスタイルを確立

戦略2　人と人の交流を深め、賑わいを創出し、能登町で暮らす「ひと」の流れをつくる

基本的方向

- のと里山空港、のと里山海道等の交流基盤の強化を図る
- 町民が豊かな地域資源を学ぶとともに、町民同士の集落間交流・世代間交流により賑わいを創出
- 町外の人との交流を活性化し、より結びつきの強い関係人口への発展を図ることにより、能登町で暮らす「ひと」の流れをつくる

戦略3　若い世代の希望に叶った結婚・出産・子育てができる環境をつくる

基本的方向

- 若い世代の希望に叶う結婚・出産・子育て環境を充実させ、安心して出産し、幸福感の高い家庭の構築につながるまち、個人の置かれた状況に応じ、多様で柔軟な働き方を選択できる社会を目指す

戦略4　「ひと」と「地域」の絆による地域力を高め、安心して暮らし続けられる「まち」をつくる

基本的方向

- 集落を構成する人口・世帯数の減少や将来的な無居住化の危機に対して備える
- 公共施設等インフラに関し、公共施設等マネジメントを適切に実施していく
- 健康寿命の延伸及び公的な福祉サービスとコミュニティにおける助け合いによる生活支援体制の確立を目指す

能登町創生人口ビジョン

【将来人口目標】

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、将来の人口が大きく減少するとされています。
2040（R22）年に約10,000人、2060（R42）年でも約6,500人を維持することを目指します。
※2015年（H27）総人口：17,568人、高齢化率45.7%を比較対象とする

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計

	2040年（R22）	2060年（R42）
総人口	8,648人	4,256人
高齢化率	56.6%	58.8%
対2015年比	49.2%	24.2%

→ 人口減少の緩和
→ 人口構造の若返り

将来人口目標

	2040年（R22）	2060年（R42）
総人口	10,152人	6,575人
高齢化率	49.7%	40.6%
対2015年比	57.8%	37.4%

第３代のときりしまレディ委嘱

町の魅力発信に向け

４月２日、のときりしまレディの委嘱状交付式が行われ、町職員の堂前さんと高井さんに持木町長から委嘱状が手渡されました。任期は２年で、イベントなどで「のときりしま」と町のＰＲ活動を行います。

２人は「町のＰＲや観光に貢献できるように頑張りたい」と抱負を述べ持木町長が「のときりしまは幸せを運ぶ花と言われている。皆さんに幸せを届けてください」とあいさつし、２人の活躍に期待を寄せました。

３代目に就任した堂前菜々加さん（左）と高井紅音さん

２ヵ月早く咲かせたのとキリシマツツジに見入る来場者

のとキリシマ　しいのき迎賓館で展示

深紅の赤で沈滞ムードを飛ばせ

のとキリシマツツジの知名度を高め、多くの観光客に奥能登まで足を運んでもらおうと、町と町内の園芸愛好者らでつくる「花の力プロジェクト実行委員会」は３月 17 日から６日間、金沢市にあるしいのき迎賓館で展示会を開きました。

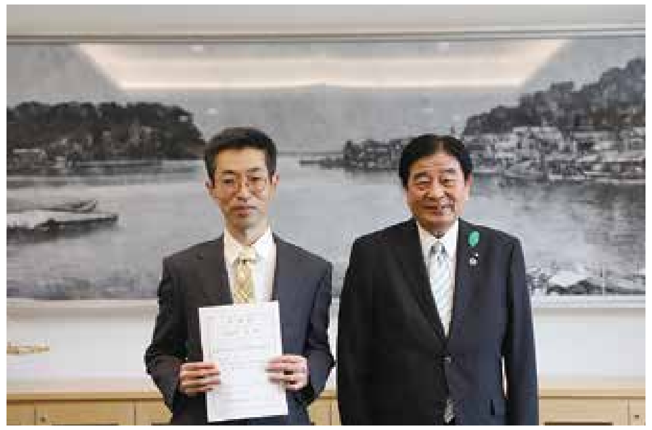
新型コロナウイルス感染症で自粛ムードが広がる中、実行委メンバーは「深紅の色は人を元気にする。沈滞ムードを吹き飛ばしたい」と意気込んでいました。

数学講師の経験活かし

鳳雛塾でプログラミング

４月 15 日、役場で鹿児島市出身の齋之平浩さんが地域おこし協力隊の委嘱状を受けました。

齋之平さんは鹿児島大学理学部を卒業後、母校の非常勤講師を勤めていましたが、公営塾に興味を持ち、町地域おこし協力隊に応募しました。特技はプログラミングで、まちなか鳳雛塾でも「数学講師としての長年経験を活かしてみたい」と語りました。鳳雛塾では６人目の地域おこし協力隊員となります。



委嘱状を受け取る齋之平さん

ヤマメを放流する少年団員ら

大きく育ってね

里山保全の一環として

４月 11 日、不動寺みどりの少年団の団員 12 人は、ヤマメの稚魚 4,000 匹を九里川尻川の支流、平瀬川にかかる砂防ダムの上流で放流しました。

稚魚は内浦ロータリークラブと山口みどりの保存会とが用意したもので、少年団員は「大きくなってね」「頑張れ」と声を掛け、バケツに入った稚魚を次々に放流しました。ヤマメの放流は、里山保全活動の一環で行われ、今年で８年目となります。

まちの出来事

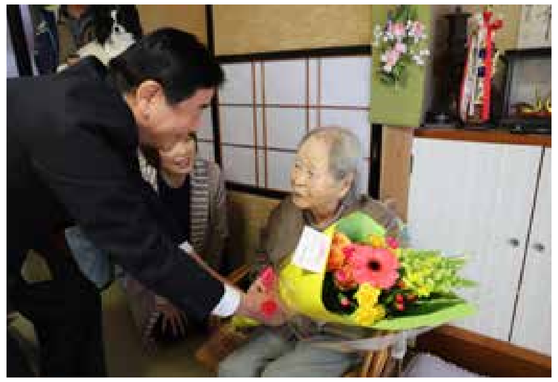
鈴木梅野さん、山岸賢信さん

いつまでもお元気で　100 歳長寿

３月 25 日、宇出津の鈴木梅野さんが 100 歳を迎え、ご自宅で町長から長寿祝い状、花束を受け取りました。

鈴木さんは役場職員として勤めた後、バスの切符販売をしていました。ゼリーやジュースなど甘い物が好きです。

病気をして 10 年たち「無事に 100 歳を迎えられたことに感謝しています」と話していました。



持木町長から花束を受け取る鈴木さん

長男夫婦と長女がお祝いに駆けつけた

３月 27 日には、曽又の山岸賢信さんが 100 歳を迎え、ご自宅で町長から長寿祝い状、花束を受け取りました。

若い頃から米作り一筋、自宅周辺を散策することを日課としており、日常生活はすべて自立、今でも軽作業ができるほどお元気です。

「周りに感謝し、これからも健康に留意し元気に過ごしたい」と話していました。

役場柳田総合支所

県産材活用で知事表彰

積極的に県産材を活用しデザイン性に優れた木造建築物などを県が顕彰する「いしかわの木づかい表彰」の表彰式は３月 18 日、県庁で行われ、役場柳田総合支所など７件が表彰されました。

今年度より創設された同表彰には３部門があり、柳田総合支所が受賞したのは県産材利用施設部門。県内で初めて、木造により建て替えられた行政庁舎であることが特徴です。

木製の表彰状が贈られた

町長に受賞の喜びを語る上野さん

９９６点から最優秀賞受賞

日本一の菌床シイタケ

寺分の農事組合法人「のとっこ」が出品した菌床シイタケが、２月４日に三重県で開かれた「第 30 回サンマッシュ品評会」で最優秀賞となる「ゴールデンサンマッシュ賞」を受賞し、代表理事の上野誠治さんが、４月３日、役場を訪れ、持木町長に受賞の喜びを語りました。上野さんは「大会に合わせ、従業員で協力して厳しい品質管理をしたことが良い結果につながった」と振り返り、家族や従業員への感謝を述べました。

お知らせ

自動車税は6月1日までに納めましょう

自動車税の納期限は6月1日です。最寄りの金融機関、コンビニエンスストアまたは県総合事務所・県税事務所で納期限までに納めましょう。納入通知書に同封のチラシ「自動車税のお知らせ」も併せてご確認ください。

トラブル防止のために

・自動車を手放したときは、名義変更されているか確認しましょう。
・自動車を廃車したときは、抹消登録されているか確認しましょう。
・住所を変更したときは、県税務課または最寄りの県総合事務所へ届け出ましょう。
・納税証明書は車検を受ける際に必要になります。車検証と一緒に大切に保管しましょう。

問 石川県税務課
☎076（225）1273

お知らせ

国民年金保険料には免除・納付猶予制度があります

国民年金保険料を納め忘れの状態で、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。

経済的な理由等で、国民年金保険料を納付することが困難な場合には、保険料の納付が免除・猶予となる制度がありますので、役場窓口でお手続きください。失業等の理由で申請されるときは、失業したことが確認できる証明書等のコピーを添付してください。

過去の期間は、申請時点の2年1カ月前の月分までさかのぼって申請することができます。令和2年度分（令和2年7月分から令和3年6月分まで）の免除等の受付は令和2年7月1日から開始です。

受付窓口　能登町役場
　住民課・各支所

必要なもの　年金手帳・認印・失業を理由とする場合は離職票や船員手帳

問 住民課年金係☎（62）8510

お知らせ

マイナンバーカードを作りませんか？

個人情報のセキュリティ強化のため、役場での手続きや銀行の口座開設、郵便局での郵便物受取など、身分証明書をご提示いただく場面が増えています。マイナンバーカードは運転免許証などと同等の顔写真付きの公的な身分証明書として、官民問わず幅広く利用可能です。

・運転免許証は返納されて写真付きの身分証明書をお持ちでない人
・学生さんなど写真付きの身分証明書をお持ちでない人
・小さいお子さんの写真付きの身分証明書を記念に作りたい人　など

初回申請は無料です。本人確認の際の公的な身分証明書として、マイナンバーカード、ぜひ作ってみませんか？

問 住民課住民係☎（62）8510

ニュース

会長に南正晴氏を再選 町農業振興協議会

能登町農業振興協議会は役員改選を行い、会長に南正晴氏が再任されました。その他の役員は次のとおりです。

副会長　末次芳幸、河原東洋史
理　事　的場清一、吉中雅美、井佐光幸、青木万里子、林　幸子
監　事　西出　宏、影田　昇

ニュース

地域農業を次世代に 農業委員が研修

町農業委員会は3月25日、コンセールのとで研修会を開き、農業委員と農地利用適正化推進委員あわせて19人が農地利用の最適化に向けて学びました。

「人・農地プラン」は地域の農地利用や担い手の確保などについて明確化し、将来の地域農業を継続するための計画です。プランは町内全域であわせて54あり、計画を実効性のあるものとするために、アンケートや戸別訪問、地域での話し合いが行われることとなっています。

講師を務めた県農業会議の忍久保健三次長は「委員が地域での話し合いで主導的に参加することが重要」と強調しました。

質疑応答では地域の農業の現状について委員から質問や意見が出ました。

INFORMATION まちからのお知らせ＆ニュース

ニュース

交付金事務処理を委託 日本型直払運営委員会

4月13日、町日本型直接支払運営委員会の設立総会が役場で開かれ、中山間地域等直接支払交付金と多面的機能委支払交付金の事務処理業務の受託などを承認しました。

二つの交付金については、かねてより複数の集落協定から事務支援を望む声があり、今後は同運営委員会が業務を受託することで農業者の負担軽減につなげていきます。

委員会は10人で構成し、役員は次のとおりです。

会　長　河原東洋史
副会長　赤﨑由美子
会　計　池脇時雄
監査役　南下久雄、干場千静子

安全・安心なまちを目指して

春の全国交通安全運動

4月3日、春の全国交通安全運動出発式が能登町役場前で行われ、交通推進隊や交通安全協会、安全運転管理者協議会など、約40人が参加しました。

式では、中山幸永町交通安全協会長が「各団体が更に一致協力し交通事故を一件でも無くしていきたい」と呼びかけました。

首田正次交通推進隊長が、交通事故防止に向け、力強く決意宣言をしました。最後に中山会長の合図に合わせ、パトカーや推進隊員の車が、各自の持ち場へと向かい終了しました。

力強く宣言を読み上げる首田交通推進隊長

き～つけてね

能登レディドライバーズクラブ内浦支部は、交通安全を願って、涅槃団子入りのお守り200個を作り「春の全国交通安全運動」に合わせ、4月6日、松波小木両小学校の新入生27人に配りました。

お守りには「き～つけてね」の札と鈴がつけられ、新入生用のお守りはいちごの形にデザインされています。

お守りは例年、街頭キャンペーンで配布していますが、今年はＪＡ内浦町「おくのといち」の売店などで配布されました。涅槃団子には厄除けの効果があると言われており、さっそく持ち帰る人もいました。

春の火災予防運動

春の火災予防運動週間中（3月20日～3月26日）の3月22日、能登町消防団が各地区において防火パレードを行い、住民に防火意識の向上を呼びかけました。

防火パレード後に行われた消防訓練では、団員らは迅速な消火活動が行えるように消防水利や資器材、ポンプ自動車からの放水や中継操作などについて確認しました。

町内各地区を防火パレード

【能登町役場】

〒927-0492
宇出津ト字50番地1
☎62-1000　FAX62-4506

4階
　議会事務局　☎62-8540
3階
　総務課　☎62-8532
　　危機管理室☎62-8533
　　秘書室　☎62-8534
　企画財政課　☎62-8535
　教育委員会事務局　☎62-8537
2階
　建設水道課　☎62-8523
　農林水産課　☎62-8524
　農業委員会　☎62-8525
　ふるさと振興課　☎62-8526
　　地域戦略推進室　☎62-8527
1階
　住民課　☎62-8510
　会計課　☎62-8511
　健康福祉課
　　医療　☎62-8512
　　児童福祉　☎62-8513
　　健康推進　☎62-8514
　　福祉　☎62-8515
　　包括支援センター　☎62-8516
　　介護保険　☎62-8517
　税務課
　　納税　☎62-8518
　　収納　☎62-8519

■柳田総合支所☎76-8300
■情報ネットワークセンター
ＣＡＴＶ放送室☎76-8301
■内浦総合支所☎72-2500
■小木支所　☎74-1111
■鵜川支所　☎67-2221

今月の納期　6月1日㊊

税・料金	軽自動車税	固定資産（都市計画）税	町県民税	国民健康保険税	介護保険料	後期高齢保険料
4月	全期					1期
5月		1				2
6月			1			3
7月		2		1	1	4
8月			2	2	2	5
9月				3	3	6
10月			3	4	4	7
11月				5	5	8
12月		3		6	6	9
1月			4	7	7	10
2月		4		8	8	11
3月				9	9	12

のと里山空港ゴールデンウィークイベント 中止のお知らせ

5月3日～5日に予定していました『のっぴーフリマ＆クラフトマーケット』及び、5月5日に予定していました、走ってゲット『のとキリシマツツジジャンボかるたとり大会』は中止することとなりました。

楽しみにされていた皆様には大変申し訳ございませんが、出店募集及び参加者募集は行いませんのでご了承ください。また、その他のイベント開催状況につきましては、決まり次第「のと里山空港 HP」にてお知らせします。

のと里山空港ホームページ
…https://www.noto-airport.jp/

のと里山空港利用促進同盟会助成金等の変更について

のと里山空港利用促進同盟会では、助成制度について利用者に親しまれるよう簡略化し、一層の利用促進を図るために名称を改正しました。

のと里山空港 ウイング・ネットワーク 会員募集中

会員になると助成金やお得な特典が受けられます。詳しくは同盟会まで。
年会費：1,000 円
有効期限：入会日から 1 年間

■助成金制度の名称変更について
（令和 2 年 4 月 1 日より）

	改正後	改正前	利用の条件
①	のと里山空港グループ旅行助成金	のと里山空港首都圏研修等助成金	会員 5 名以上で利用
②	のと里山空港ﾊｯﾋﾟｰﾊﾞｰｽﾃﾞｲ旅行助成金	ﾊｯﾋﾟｰﾊﾞｰｽﾃﾞｲ能登羽田便利用旅行助成金	会員が誕生月に往復利用
③	のと里山空港ファミリー旅行助成金	ファミリー能登羽田便利用旅行助成金	同一世帯 2 名以上で往復利用

①は 1 人当たり往復 3,000 円、片道 1,500 円。②・③は 1 人当たり往復 3,000 円

■会員証の会員期間の表示について

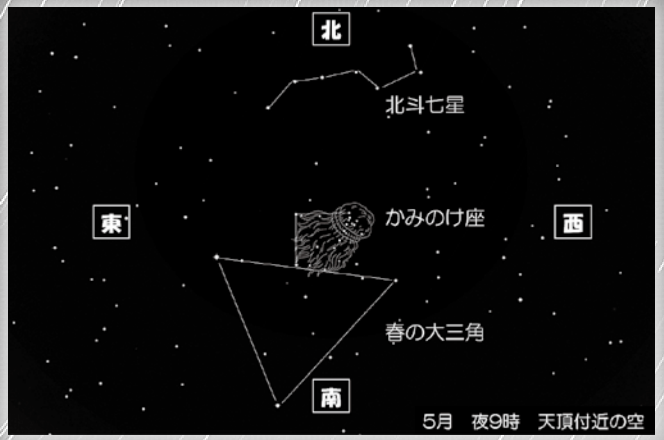
改正前　：　入会日の表示　　⇒　　改正後　：　有効期限の表示

※経過措置として、当分の間、旧助成金名称で申請書が提出されても、そのまま受付します。

問のと里山空港利用促進同盟会☎ 0768-26-2366

続☆星のささやき「かみのけ座」

問星の観察館「満天星」☎ 76-0101



春の夜空には「かみのけ座」という少し変わった星座があります。名前の通り、髪の毛の星座です。神話では、エジプトの王女ベレニケが、戦に出かける王の無事を願って美しい髪を切り祭壇に捧げたものだと伝えられています。

最近の夜 9 時頃だと、北斗七星の南側、頭の真上あたりにあります。たくさんの星の集まりである「星団」がそのままかみのけ座になっているので、肉眼ではぼんやり霞んだように見えるかもしれません。

かみのけ座のあるあたり、春の夜空は「宇宙ののぞき窓」。宇宙の遠いところからくる光を遮るものが少なく、遥かかなたまで見渡すことができます。望遠鏡でのぞいてみると、遠くにある無数の「銀河」が見えてきます。銀河とは星やガスの大集団のこと。私たちの住む天の川銀河には約 2 千億個の恒星があります。宇宙にはそんな銀河が 2 兆個もあると考えられています。

春の夜空を眺めながら広大な宇宙に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

星の観察館「満天星」は 5 月 6 日まで臨時休館中です。
また、休館期間は状況により変更する場合もあります。

5月は消費者月間です

消費生活トラブル対策「賢い消費者になりましょう」

令和２年度統一テーマ

豊かな未来へ
～『もったいない』から始めよう！～

令和元年 10 月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、国民運動として食品ロスの削減を推進していくことが求められています。

一人一人の消費者が「もったいない」という考え方の下で必要な量だけ購入して食べきるという実践が大切です。

消費者が事業者・地方公共団体・国などとともに連携しながら食品ロス削減を始め、消費を通じた豊かな未来づくりに向けて具体的な行動を起こすきっかけとなるように！

相談窓口
- 住民課（町相談窓口）
  ☎ 62-8510
- 奥能登広域消費生活センター
  ☎ 0768-26-2307
- 県消費生活支援センター
  ☎ 076-255-2120
- 消費者ホットライン
  局番なしの☎ 188（イヤヤ！）